

## 父の仕事を通して感じた思い

### 菊池地区保護司会活動報告

「第75回社会を明るくする運動」全国作文コンテストで、大津北小学校5年生の宇野正社さんが、県保護司会連合会会長賞を受賞し、菊池地区保護司会の活動報告にあわせて来庁しました。同会では、更生支援や見守り活動、学校と連携した啓発活動を行い、地域で支える取り組みを進めています。作品の題名は「ぼくのお父さん」。保護司として活動する父の姿を通して、悪いことをしてしまった人も支えがあれば立ち直れることや、見守ることの大切さを自分の言葉で丁寧につづった作品です。



左から金田町長、受賞した宇野正社さんと父の勝彦さん、菊池地区保護司会大津支部 伊東支部長

## 善行の積み重ねに荣誉

### 環境美化や地域の見守り活動を評価

一般社団法人日本善行会の「秋季善行表彰」を受賞した宮園謙二郎さん(美咲野)が1月26日、町を訪れ受賞を報告しました。これまで不法投棄ごみの撤去や防止活動に加え、地元の神社・保育園などへの高圧洗浄美化奉仕のほか、町社会福祉協議会と協力し高齢者の見守り団体「井戸端会議3丁目」を立ち上げるなど、地域の安全と交流を支える活動が高く評価されました。宮園さんは「今回いただいた賞に恥じない行いを今後も続けていきたい」と今後の活動への意欲を語りました。



左から金田町長、受賞した宮園謙二郎さん、日本善行会熊本県宇土支部 宇佐川照孝副支部長

## 熊本県知事賞を受賞

### 技術力が光る、熊日学童スケッチ展の栄冠

第79回熊日学童スケッチ展で、大津北中学校2年生の古庄湊祐さんが熊本県知事賞を受賞しました。全学年から選ばれた特別賞の一つで、県内132校、3,173点の作品の中から選出されました。「緑と小径」という作品は、樹木や草に陽が当たる光と影を描いた圧倒的な技術力が高く評価されました。また、中学2年の部では、内野結梨さん(大津北中)が描いた作品「踏切とゆうやけ」が地賞を受賞しました。さらに、学校としても奨励賞の表彰を受け、輝かしい成果を収めました。



熊本県知事賞の表彰状を持つ古庄さんは「集中して描き写実的な作品にできた。受賞できてうれしい」と話しました

## 全国中学バレーで見事3位!

### JOCジュニアオリンピックカップ熊本選抜チーム

大阪府で昨年12月26日から開催された、第39回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に県代表として松岡優太朗さん(大津北中3年)、井野杏珠さん(大津北中3年)が出場し、男女ともに3位の銅メダルを獲得しました。男子は愛媛、石川、沖縄、宮城、東京に勝利し、準決勝で長崎とフルセットの大接戦の末敗れました。女子は宮城、岡山、滋賀、石川、長野に勝利し、準決勝で東京に敗れました。男女とも熊本県チーム一丸となり、強豪相手に素晴らしい熱戦を展開しました。



「全国の舞台上貴重な経験ができました」と語る松岡さん(左)と井野さん(右)

## 九州初の協定

### ポータブル電源を災害時の電力確保に活用

災害時に必要となる電力確保体制の強化を目的として、株式会社 Jackery Japan と「災害時等における連携協定」を1月27日に締結しました。この協定は、ポータブル電源やソーラーパネルを避難所などで活用することにより、災害による停電が発生した場合でも一定の電力供給が可能となります。今回寄贈されたポータブル電源は、今後町の防災訓練やイベントなど平時にも活用していく予定です。高橋社長は、「九州では初めての協定であり、地域防災の一助に役立ててもらいたい」と話しました。



(株)Jackery Japan 高橋勝利代表取締役社長(右から3番目)

## 企業と行政が直接意見交換

### 企業と町行政との懇談会

町内企業80社で構成される大津町企業連絡協議会主催で「令和7年度大津町企業と町行政との懇談会」が1月30日に開催されました。

この懇談会は企業と行政が協議を行い、地域社会との連携を図りながらより良い町づくりを進めることを目的としています。当日は、町内の企業35社、熊本県、大津警察署などが出席し、町行政から空港アクセス鉄道整備に伴うまちづくりなどの行政報告や各企業から事前に提出された要望に対し対応報告などが行われました。



懇談会では要望に対する回答などさまざまな意見交換が行われました

## 花が育んだ「思いやりの心」

### 「人権の花」運動終了式

大津南小学校で1月22日「人権の花」運動の終了式を開催しました。この活動は、花を育てることを通じて命の尊さや思いやりの心を育むものです。式では町などから児童へ感謝状が贈られ、人権について改めて学習した児童の発表も行われました。児童が愛情を込めて育て収穫した花の種は、令和8年度に菊陽町の小学校へ贈られ、育てられる予定です。「思いやりのバトン」は、花とともに次なる学校へとつながり、地域に優しい心の輪を広げていきます。



人権の花運動を通して学んだことを発表する児童代表

## 冬の青空を駆ける

### ジョギングフェスティバル開催

「第27回スポーツの森・大津ジョギングフェスティバル」を1月25日に町運動公園で開催しました。当日は、町内外から690人のランナーやホンダ熊本硬式野球部の選手が参加し、健脚を競いました。会場ではチームOH MURAによる準備運動や、大津太鼓の勇壮な演奏が大会を盛り上げたほか、グランパワーヒノクニも応援に登場。今年も多くのボランティアによるおにぎりや温かい豚汁の振る舞いなど、心のこもったおもてなしが参加者の完走を後押ししました。



元気いっぱいスタートを切る子どもたち